

17年度予算における成果目標について

【 内閣府 所管（組織） 金融庁 】

No.	施策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	17年度予算額 (千円)
1	金融庁行政情報化LAN	金融庁の基盤情報システムとして安定的かつセキュリティ上安全な稼働の維持。	安定稼働等を実現するための、定期的なメンテナンス及びシステム監査の実施。	システム(ネットワーク、サーバ等)の稼働状況のモニタリング。	582,485
2	金融庁ホームページ	金融庁の基盤情報システムとして安定的かつセキュリティ上安全な稼働の維持。	安定稼働等を実現するための、定期的なメンテナンス及びシステム監査の実施。	システム(ネットワーク、サーバ等)の稼働状況のモニタリング。	12,005
3	財務局ネットワークシステム	金融庁の基盤情報システムとして安定的かつセキュリティ上安全な稼働の維持。	安定稼働等を実現するための、定期的なメンテナンス及びシステム監査の実施。	システム(ネットワーク、サーバ等)の稼働状況のモニタリング。	8,111
4	業務・システム最適化計画支援に係るコンサルティング業務	電子政府構築計画に則り、業務・システム最適化計画を効率的に作成する。	業務・システム最適化計画を効率的に作成するため、外部コンサルタントの活用とCIO補佐官による助言、事前チェック等の実施。	コンサルティングに従事した要員を庁内要員で代替して当該計画を作成した場合にかかる費用(試算)と、コンサルティング費用とを比較する。	132,514
5	金融機関等検査監督事務電算化	金融庁の基盤情報システムとして安定的かつセキュリティ上安全な稼働の維持。	安定稼働等を実現するための、定期的なメンテナンス及びシステム監査の実施。	システム(ネットワーク、サーバ等)の稼働状況のモニタリング。	134,948
6	申請・届出システム	オンライン申請・届出件数が、16年度における当該件数以上となることを目指す。	広報紙・関係団体を通じオンライン利用が可能な手続やその利用方法を周知するなどにより、利用者の利便性向上にむけてオンライン利用の普及に取組む。	オンライン申請・届出件数が、16年度における当該件数以上となっていることを確認する。	198,556
7	マネー・ローンダリング対策及びテロ資金対策に係るコンピュータ・システムの機能改善	金融機関等から届け出られた疑わしい取引に関する情報を犯罪捜査等に効率的に結びつけるため、コンピュータ・システムを利用し、整理・分析を行い、その結果、犯罪捜査等に資すると認められた情報を捜査機関等に提供し、犯罪の撲滅を図ることを目的とする。	疑わしい取引の届出件数の増加及び犯罪態様の変化に対応するため、コンピュータ・システムの機能を向上させ、迅速かつ的確に情報を整理・分析し、効率的かつ効果的に犯罪捜査等に結びつける。	金融機関から届け出られた疑わしい取引に関する情報をコンピュータ・システムを利用し、迅速かつ的確に整理・分析を行い、捜査機関等に有益な情報を提供する。	62,501

17年度予算における成果目標について

【 内閣府 所管（組織）金融庁 】

No.	施策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	17年度予算額 (千円)
8	地域再生計画推進関係経費 (シンポジウム関係経費)	シンポジウム参加者に対するアンケートで、当該シンポジウムへの参加により投資意欲が向上したかどうか問う質問項目を設け、50%以上の回答者から、シンポジウムの前に比べて投資意欲が向上したとの回答を得るほか、利用者満足度として、80%以上の回答者から、当該シンポジウムのテーマについての理解・関心が深まった旨の肯定的な回答を得る。	地域再生計画の認定を受けた自治体において、支援の一環として、「金融経済教育を考えるシンポジウム」を開催する。	シンポジウム参加者に対するアンケートの実施。	5,883
9	地域再生計画推進関係経費(地域再生計画に対する支援計画)	研修参加者に対するアンケートで、当該研修への参加により投資意欲が向上したかどうか問う質問項目を設け、50%以上の回答者から、研修の前に比べて投資意欲が向上したとの回答を得るほか、利用者満足度として、80%以上の回答者から、当該研修のテーマについての理解・関心が深まった旨の肯定的な回答を得る。	地域再生計画の認定を受けた自治体との緊密な連携を図り、支援の一環として、金融庁職員をセミナー等の催し物に講師として派遣するとともに、副教材等の配布を行う。	研修参加者に対するアンケートの実施。	1,287
10	有価証券報告書等の開示書類の電子化	企業や投資家と当庁との間でオンラインで行われる開示手続・公衆縦覧等を対象とし「国民サービスのための行政の情報化」及び「国民による金融サービスの適切な利用」を基本目標とする。 具体的には、システムを取り巻く環境変化、セキュリティ問題に迅速に対応し、システムを安定的に管理・運営する中で、定量的な目標達成を図る。 【定量的な達成目標】 EDINETサイトへのアクセス件数(月平均) 平成16年7月～17年6月の目標113,000件 平成17年7月～18年6月の目標123,000件	システム環境の変化に伴うセキュリティ強化を実施するとともに、証取法関連法令の改正に対応するためにシステムの開発を実施する。また、平成17年度前半に策定される予定の業務・システム最適化計画策定の一環としてシステム仕様書を作成する。	定量的目標数値の達成状況による評価とともに、システム分析や利用者側の意見を勘案した上で、達成状況を評価する。	275,216
11	オフサイト・モニタリングに係るコンピュータシステムの機能強化	オフサイトモニタリングの分析手法の高度化・多様化に適応したシステムとして安定的な稼働の維持を図ることにより、引き続き同レベルの情報提供を行っていくこと	安定的な稼働を維持するため、定期的なメンテナンスを実施。	オフサイト・モニタリング・システムの稼働状況	319,241